

白磁 NEWS

VOL.13

春到来♪ゆっくりお茶を楽しみませんか？

うらかな陽ざしが気持ちのよい季節。
お好みの白磁を組み合わせて、オリジナルの
湯呑&受け皿セットを作ってみましょう。

お茶請けを
添えても♪

806413 たたら煎茶碗

¥350 **¥280**

(口径8.3cm)

808297 小さな白い器

桜おはぎ皿

¥480 **¥384**

(幅12.5cm)



808222 玉露カップ

¥300 **¥240** (口径7.8cm)

808623

三日月プレート(SS)

¥420 **¥336** (長辺13cm)

807168

たたら新茶碗

¥330 **¥264**

(長径7cm)

807165

たたらジャム&
バタートレー

¥450 **¥360**

(長辺13.5cm)

使いやすい
仕切り皿

桜の形が
キュート!

802585 七福 煎茶

¥550 **¥440**

(口径8.2cm)

802586 七福 小皿

¥450 **¥360**

(直径11.3cm)

縁に
センスあり☆

めずらしい
七角形

これぞ
ザ・定番!

807130 なごみ煎茶

¥380 **¥304**

(口径7.2cm)

807817 なじみ 9cm小皿

¥160 **¥128** (直径9.4cm)

807510

白い器の煎茶碗

¥330 **¥264**

(幅8cm)

807511 白い器の小皿

¥420 **¥336**

(幅10.9cm)

器はキャンバス。—陶画舎講師のよもやまコラム—

「絵心がないから」。陶絵付と聞いて、すぐに敬遠されてしまう方々が、まず最初に発する一言ではないかと思えます。わかります。何か敷居の高そうな雰囲気もありますし、そもそも絵を描くということが自分の趣味になるとは最初から思っていない方も多いでしょう。ですが『絵心のある人』というのは、何もない真っ白な所からいきなりステキな絵を生み出せるような人を指すのであって、そんな人は滅多にいません。

陶絵付を習う際には基本的に下書きがあります。そして失敗しても修正しながら作業ができます。その時必要なのは〈慣れ〉と〈謙虚な気持ち〉(←大事)です。それさえあればどなたでも絵付が楽しめます。それにそもそも一般的に思い浮かべやすい「マイセン」などの高級磁器に描かれているような絵ばかりがイコール絵付、という訳ではありません。実際には何を描いてもその人だけのオリジナルになる、とても自由で制約のない趣味なのです。

それでも「筆を使うのも小学校以来……」とまだ困惑顔の方もいらっしゃるでしょう。その時私がおすすめしたいのが「ペン」です。私自身も筆だけで描く絵付に疑問を感じた時期がありましたが、ペンを使ってからとても絵付が楽しくなりました。シンプルなのは『ペンワークオイル』『ペン先(「スクールペン」など)』『ペン軸』、この3つを揃える。それに絵具を練るタイルやナイフ&線描きしたい好きな色があれば、和洋に関わらずすぐに絵付に親しめます。また同じ線でも金で描きたい方は『ペンワーク専用マット金』をどうぞ。希釈用の金油と併せて用意しておけば、これだけで一気にモダンでスマートな絵付が可能です。面を塗るにはまた別の道具がありますが、まずは一度、ペンで線を描いてみてください。きっと楽しさの第1歩が開けるはず。 (原宿陶画舎講師/江川達也)



- ① **ペンワークオイル 50ml**
¥1,080 **¥972**
- ② **日本金液**
ペンワーク専用マット金25% 2g
¥6,372 **¥5734**
- ③ **スクールペン先**
¥259 **¥233**
- ④ **フリーペン軸 T-36W**
¥475 **¥427**

